

(様式第1号)

平成30年3月31日

陸前高田市議会議長 伊藤明彦様

会派名 至誠会

代表者名 会長 大坂 俊



政務活動概要報告書

政務活動費に関する取扱要綱第6条第2項の規定により、平成29年度政務活動の状況について報告いたします。

記

1. 調査事業（管外行政視察）

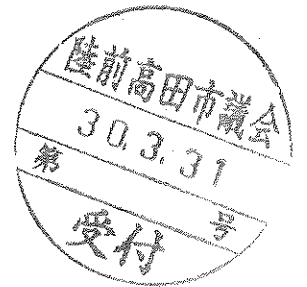
(1) 実施日 平成30年2月12日(月)～14日(水)

(2) 場所 島根県邑智郡邑南町

(3) 参加者 大坂 俊(会長)、中野貴徳(幹事長)

(4) 内容 ○「日本一の子育て村構想」について
○ 小学校の統廃合について

(5) 視察行程



月 日	行 程
2月12日 (月)	市役所==== ホテル (ルートイン名取岩沼インター) 自家用車
2月13日 (火)	6:30 発 8:00 発 9:40 着 ホテル ==== 仙台空港 ==== 広島空港 ==== (昼食) 自家用車 ANA3135 レンタカー 13:20 着 16:00 発 ==== 邑南町視察 「日本一の子育て村構想について」 「小学校の統廃合について」 ==== ホテル レンタカー (いこいの村しまね) レンタカー
2月14日 (水)	9:30 発 10:00 発 12:00 ホテル ==== 邑南町内見学 ==== (昼食) ==== レンタカー レンタカー レンタカー 19:40 発 21:00 着 24:00 着 ==== 広島空港 ==== 仙台空港 ==== 市役所 レンタカー ANA3140 自家用車

(6) 所 感

人口 11,000 人程の島根県邑智郡邑南町では、全国的に問題となっている少子化に対し、合計特殊出生率 2.46 と、全国平均 (1.44) から見ても大きく上回っている地域である。

背景としてどの様なことがあるのか調べてみたところ、邑南町版まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で「日本一の子育て村構想」をかかげ、子育て世代にやさしく暮らしやすいまちづくりを進めていた。

財政規模としても本市のそれと近いと感じ、ならばどの様な手法で取り組まれているのか更に調査研究するため、現地を訪れ、担当者より説明を受けてきた。

細かな点についてはこれからも改善の余地があるということだが、大まかな骨格としては、経済的な支援を高め続けても続くものではなく、全体の雰囲気大切であるとの事であった。

その雰囲気を作るためには、行政だけが頑張ってもどうにもならず、地域住民の気持ちが必要であるとの事であった。しかし行政としての取り組みは、常に振り返り検証を続けており、より充実した環境整備につながっていると感じた。

また、「子育て村構想」と銘打っているが、その実態として医療の充実もあり、高齢者にとっても安心の確保にもつながっており、住民全体の福祉向上になっていることも見逃せない点であった。